

- 問1 幕末の1850年代後半、江戸幕府が欧米諸国と通商条約を結んで開国を進めた際、これに反対する勢力の間で高まった政治思想と、その背景にある当時の社会状況について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. 公武合体運動：元禄文化の成熟による町人の台頭を背景に、天皇と幕府が協力して欧米諸国との不平等条約を改正しようとした。
 2. 尊王攘夷運動：勅許を得ない条約締結への反発や、開港に伴う物価高騰による社会不安を背景に、天皇を尊び外国勢力を排除しようとした。
 3. 文明開化：産業革命による生産技術の向上を背景に、西洋の進んだ制度や文化を取り入れ、幕府の権威を近代化しようとした。
 4. 自由民権運動：士族の反乱が終結した後の社会情勢を背景に、藩閥政治を批判し、国民の権利を守るための議会開設を求めた。
- 問2 近代以降の日米関係を記した年表において、1858年の出来事として「井伊直弼が日米修好通商条約を結ぶ」という記述がある。この時の状況について述べた文として正しいものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 老中の水野忠邦が、アメリカからの要求を拒否するために結んだ同盟である。
 2. 大老が朝廷の許可を得ないまま調印したが、幕府への批判を強める要因となった。
 3. 朝廷から正式に条約締結の命令が下されたため、国内の混乱は最小限に抑えられた。
 4. 勝海舟が全権大使としてワシントンへ渡り、アメリカ大統領と直接調印した。
- 問3 1853年、アメリカの使節が4隻の軍艦を率いて浦賀（神奈川県）に来航し、江戸幕府に対して開国を要求しました。このとき、当時の人々が「泰平の眠りをさます上喜撰（じょうきせん）たった四杯で夜も寝られず」という狂歌に詠んだ、来航した人物と船の通称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. ハリスと蒸気車
 2. ペリーと印旛沼
 3. ペリーと黒船
 4. ハリスと黒船
- 問4 イギリスの産業革命期において、労働者が「労働組合」を結成し、団結して行動する必要があった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 農村で普及していた問屋制家内工業を、都市の工場労働者たちが保護・継承していく必要があったため。
 2. 機械の導入によって失業した人々が、自分たちで新しい工場を建設するための資金を出し合う必要があったため。
 3. 政府がすべての工場を国有化し、労働者が公務員として計画的に生産を行う仕組みを作ろうとしたため。
 4. 個々の労働者では、賃金の引き上げや労働時間の短縮といった要求を経営者に認めさせることが困難だったため。
- 問5 幕末の日本における貿易相手国の変化と、その背景にある国際情勢について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. アヘン戦争の結果、アメリカが日本に対して貿易制限を行ったため、オランダとの貿易額が急増した。
 2. ベトナム戦争の影響により、アメリカから日本への武器の輸出が停止し、代わってイギリスが輸入を独占した。
 3. アメリカ独立戦争の影響でアメリカの国力が低下し、代わってフランスが日本の最大の貿易相手国となった。
 4. アメリカが南北戦争によって自国内の紛争に注力したため、日本との貿易においてイギリスの存在感が増した。
- 問6 1859年に横浜などの港が開かれた後、日本から最も多く輸出された品物と、当時の日本と外国との金銀交換比率の差によって国外へ大量に流出した貴金属の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 生糸・銀
 2. 綿糸・銀
 3. 生糸・金
 4. 茶・金
- 問7 日米修好通商条約が、その後の日本の政治情勢に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 幕府の外交手腕が評価され、諸藩が幕府に協力する「公武合体」が実現した。
 2. 鎖国体制が強化され、長崎以外の港での外国船の入港が厳しく制限された。
 3. アメリカとの対等な立場が確立されたことで、関税自主権を完全に回復した。
 4. 天皇を尊び、外国の勢力を排除しようとする「尊王攘夷」の運動が激しくなった。
- 問8 一八五三年に、マシュー・ペリー率いるアメリカの東インド艦隊が、江戸幕府に開国を求める親書を携えて来航した場所はどこですか。相模湾に面した三浦半島の先端付近に位置する、当時の外交上の重要地点の名称を答えなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 下田
 2. 函館
 3. 長崎
 4. 浦賀
- 問9 1825年に出された「異国船を二の足を踏まずに打ち払う」という厳しい方針が、1842年には「遭難した外国船に薪や水、食料を与えて退去させる」という方針へと転換されました。この大きな方針転換のきっかけとなった、当時のアジア情勢として最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. フランス革命の影響で自由主義的な考え方が広まり、人道的な対応が求められたため
 2. オランダ王から開国を勧告する親書が届き、それを受け入れる決定をしたため
 3. アメリカのペリーが浦賀に来航し、開国を強く求めたことで幕府が譲歩したため
 4. 隣国である清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、軍勢力の差を恐れたため
- 問10 日米修好通商条約などの不平等条約を改正することは、明治政府にとって長年の悲願でした。このうち、1911年に外務大臣・小村寿太郎が交渉にあたり、完全に回復することに成功した権利はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 領事裁判権
 2. 参政権
 3. 排他的経済水域の管轄権
 4. 関税自主権
- 問11 幕末から明治初期にかけての貿易の展開が、国内の産業や経済に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 輸入額が輸出額を大幅に下回り続けたため、国内では金や銀などの貨幣が大量に蓄積された。
 2. 生糸の輸出が急増したことで、国内の絹織物業が衰退し、原料である繭の生産も中止された。
 3. 茶の輸出を制限するために、幕府は主要な港を閉鎖し、外国との取引を一部の商人だけに限定した。
 4. 安価な綿織物が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業や綿作が大きな打撃を受けた。
- 問12 大老の井伊直弼が、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を結んだことや、將軍の跡継ぎ問題に対して反対意見を持つ大名や公家、志士たちを厳しく処罰した弾圧事件を何といいますか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 生麦事件
 2. 桜田門外の変
 3. 安政の大獄
 4. 禁門の変
- 問13 1842年、江戸幕府はそれまでの方針を転換し、接近した外国船に薪や水、食料を与えて帰すことを命じる「薪水給与令」を出しました。この方針転換の背景となった、当時の東アジア情勢を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. ペリー率いるアメリカの黒船が浦賀に来航したこと
 2. フランス革命の影響によりヨーロッパ諸国との貿易が途絶えたこと
 3. アヘン戦争で清がイギリスに敗れたこと
 4. ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し通商を求めたこと

答え合わせ・解説

問1	答え 2 尊王攘夷運動：勅許を得ない条約締結への反発や、開港に伴う物価高騰による社会不安を背景に、天皇を尊び外国勢力を排除しようとした。	1858年に日米修好通商条約が天皇の許可（勅許）を得ないまま結ばれたことや、開国によって国内の物資が不足し物価が急騰したことは、幕府に対する強い不信感を生みました。こうした状況下で、天皇を敬う「尊王」と外国を追い出そうとする「攘夷」が結びつき、幕府を批判する大きな運動へと発展しました。選択肢にある「元禄文化」や「士族の反乱」は時代が異なるため、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 2 大老が朝廷の許可を得ないまま調印したことが、幕府への批判を強める要因となった。	日米修好通商条約の調印は、当時の最高責任者である大老・井伊直弼の判断で行われましたが、天皇の許可（勅許）を得ていなかったことが最大の問題となりました。この独断専行は、反対派を弾圧した「安政の大獄」とあわせて、幕府の権威を失墜させる一因となりました。水野忠邦はそれ以前の時代の人物であり、勝海舟はこの条約の批准書を交換するために咸臨丸で渡米しましたが、調印そのものを行った大老ではありません。
問3	答え 3 ペリーと黒船	アメリカ東インド艦隊司令長官のペリーは、巨大な大砲を積み、黒く塗られた蒸気船（黒船）を率いて来航しました。狂歌にある「上喜撰」は高級な茶の銘柄ですが、同じ読み「蒸気船」とかけており、わずか4隻の来航で幕府や社会が大混乱に陥った様子を風刺しています。ハリスは数年後に日米修好通商条約を締結するために来日した人物であり、混同しないよう注意が必要です。
問4	答え 4 個々の労働者では、賃金の引き上げや労働時間の短縮といった要求を経営者に認めさせることが困難だったため。	工業化が進む中で、資本家は利益を優先して労働者を安く長く働かせようとしていました。労働者一人が抗議しても解雇される恐れがありましたが、組合を作って集団でストライキなどを行うことで、経営者と対等に交渉する権利を勝ち取ろうとしたのです。
問5	答え 4 アメリカが南北戦争によって自国内の紛争に注力したため、日本との貿易においてイギリスの存在感が増した。	開国当初の日本において、アメリカは外交・貿易の両面で主導権を握っていましたが、1861年に勃発した南北戦争により対外政策が停滞しました。この隙を突く形で、世界最大の工業力を誇っていたイギリスが日本への進出を強め、1860年代半ばには日本の貿易額の大部分をイギリスが占める状況が生まれました。
問6	答え 3 生糸・金	幕末の開国にともなう貿易において、日本からは生糸や茶が主要な輸出商品となりました。中でも生糸は、当時のヨーロッパでカイコの病気が流行していた背景もあり、最大の輸出額を記録しました。また、当時の日本では金と銀の交換比率が外国と異なり、海外に比べて金が安く設定されていたため、利得を狙った外国人によって大量の金が国外へ持ち出される事態となりました。
問7	答え 4 天皇を尊び、外国の勢力を排除しようとする「尊王攘夷」の運動が激しくなった。	井伊直弼が勅許を得ずに条約を結んだことは、天皇を尊重する人々から「幕府が朝廷を軽視している」と激しい反発を招きました。これが、天皇を敬う「尊王」と外国を追い払う「攘夷」の考えが結びついた「尊王攘夷運動」を加速させ、幕末の動乱を招く大きな原因となりました。なお、この条約は日本にとって領事裁判権を認め、関税自主権を欠く不平等な内容でした。
問8	答え 4 浦賀	当時のアメリカは、中国との貿易を拡大させる過程で、太平洋を横断する蒸気船の中継地（石炭や水の補給拠点）や、捕鯨船の保護を目的として日本の開国を求めています。ペリーは、江戸に近い三浦半島の浦賀に黒船で現れることで、幕府に強力な軍事的圧力をかけ、長年の鎖国政策を転換させる契機となりました。
問9	答え 4 隣国である清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、軍事力の差を恐れたため	江戸幕府は1825年に異国船打払令（無二念打払令）を出し、外国船を武力で排除する強硬な姿勢をとっていました。しかし、1840年に始まったアヘン戦争で、当時アジアの大国であった清がイギリスに敗北したという情報がオランダ船などを通じて伝わります。幕府は西洋諸国の圧倒的な軍事力を認識し、無謀な武力衝突を避けるために1842年に方針を緩和しました。
問10	答え 4 関税自主権	条約改正は二段階で進みました。まず1894年に陸奥宗光が領事裁判権（治外法権）の撤廃に成功しました。その後、日露戦争を経て日本の国際的地位が高まった1911年、小村寿太郎がアメリカをはじめとする各国と交渉し、自国で関税率を決定できる「関税自主権」を完全に回復したことで、幕末以来の不平等条約は完全に解消されました。
問11	答え 4 安価な綿織物が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業や綿作が大きな打撃を受けた。	開港後の貿易では、産業革命を経たイギリスなどから安価で質の高い綿製品（綿糸・綿織物）が大量に流入しました。これにより、それまで国内で自給自足的に行われていた綿作や手工業による綿織物業は価格競争に敗れ、深刻な打撃を被ることになりました。一方で、輸出向けの商品として需要が高まった生糸の原料となる養蚕業などは、現金収入を得る手段として大きく発展しました。
問12	答え 3 安政の大獄	井伊直弼は幕府の権威を立て直すために、反対派を徹底的に排除する強硬策をとりました。この弾圧によって吉田松陰らが処刑されましたが、幕府への反感はかえって強まり、のちに井伊自身が暗殺される桜田門外の変へとつながりました。歴史の大きな転換点となった重要な政治的事件です。
問13	答え 3 アヘン戦争で清がイギリスに敗れたこと	強大な国力を持つと考えていた清が、アヘン戦争においてイギリスに敗れたという知らせは江戸幕府に大きな衝撃を与えました。これまでの「異国船打払令」のように外国船を武力で追い払い続けると、日本も欧米列強から攻撃を受ける危険があると判断した幕府は、人道的な支援を行って穏やかに立ち去らせる方針へと転換しました。ペリーの来航はこの出来事より後の1853年であるため、混同に注意が必要です。